

マドゥーロ大統領、2023 年を総括し、 厳しい目で新年の課題を展望

2024 年 1 月 1 日 ジャーナリストのイグナシオ・ラモネ氏による、
恒例となった新年のベネズエラ指導者への長時間インタビュー

出所:テレスール

2024 年 1 月 1 日



* イグナシオ・ラモネによるイントロダクション

世界にはすでに新しい時代が到来しています。いろいろな西側帝国の時代は確実に過ぎ去り、西側帝国最後の帝国であるアメリカ帝国は、歴史的衰退の過程にあります。世界が、ウクライナやガザでの紛争に衝撃を受け続けている一方で、ベネズエラについても、話題が止まりません。それどころか、ここ数週間、主要国際メディアの一面に返り咲いたカラカスでは、ニュースは加速し、一層速度を速めています。

昨年 10 月にバルバドスで与党と議会外の野党との間で予想外の合意がなされ、米国がベネズエラに対する一方的な強制措置を停止しました。その後、エクソンモービルや米海軍と手を組んだガイアナ当局が、ベネズエラが 2 世紀にわたって領有権を主張してきたエスキバ・ガイアナという地域での挑発行為を強化したことで、ガイアナとの緊張が激化しました。

昨年 12 月 3 日、ベネズエラにおける、この領有権に関する住民投票の成功に続いて、12 月 14 日、ベネズエラとガイアナの両大統領が、アーガイル協定に署名しました。しかし最近、アーガイル協定に反して英国軍艦がこの海域に入港したことで、緊張と危険が劇的に再燃しました。

この騒乱のさなか、ベネズエラは、12 月 20 日、米国に不当に誘拐され、約 4 年間拘束されていたアレックス・サーブ氏の釈放という大きな外交的成功を収めました。私たちは、ニコラス・マドゥーロ大統領に、これらすべてのこと、そしてその他多くの重要な問題について話を聞くことにし、大統領は再び、この伝統的な 1 月 1 日のインタビューに快く応じてくれました。

以下本文

イグナシオ・ラモネ（以下 IR）：

大統領、こんばんは。今年最初のインタビューということで、すでに 7 回目か 8 回目になりますが、このインタビューに応じていただき、ありがとうございます。

ニコラス・マドゥーロ大統領（以下 NM）：

さて、このインタビューは、努力と犠牲の連続であったこの困難な年月を振り返り、常に総括をする役割を果たし、また将来への展望を示すものでもあるので、とても良いものです。ですから、いつでもご自由にどうぞ、ラモネさん。

「私たちはカンセルペーロの謎を解きました」

IR：

ありがとうございます。このインタビューの目的は、今年を振り返ることです。特に、ベネズエラで達成された成果、勝利、進歩を把握することです。ま

た、今後の展望についてもお聞かせください。これはインタビューの中でお聞きします。しかし、もしお許しいただけるのであれば、本題から少し外れますが、特にベネズエラのラッパー、カンセルベローのファンである何百万人もの若者たちに大きな影響を与えたことから始めたいと思います。数日前、私たちは「カンセルベローの謎」が解けたことを知りました。カンサベローは自殺したと思われていましたが、ベネズエラ検察庁は、実際は殺害されたことを明らかにしました。この情報についてどうコメントされますか？

NM：

はい、この若い芸術家、作曲家として短期間の音楽活動で、若い人々に大きな影響を与えた、ベネズエラのクリエイターを殺害した知的、物質的な加害者が、誰であるかという決定的な結論を導き出したのは、本当に科学的、専門的な事実の再現作業でした。私たち、妻のシリアと私には、あらゆる年齢の孫がいますが、8歳、9歳、10歳、12歳、13歳、14歳、15歳の孫たちは、カンセルベローの芸術、音楽、作曲、歌詞の愛好者であり、信奉者です。とても驚いています。

IR：

特に、彼が亡くなったのは、8年ほど前ですよ？

NM：

もう9年前です。正直に言うと、私は音楽が好きで、サルサやロックが好きなんです。2023年、Spotifyでプレイリストを見ると、とても人気のあるプレイリストがあり、とても忙しく、あらゆるジャンルの音楽で溢れています。でも、私は、2年前まで、カンセルベローが、誰だか知りませんでした……。孫が説明してくれて、一曲一曲聴かせてくれて、一曲一曲分析したんです。そこからカンセルベローの芸術への興味が生まれました。ある時、同じくカンセルベローの芸術の愛好家である検事総長と話をしたのですが、検事総長は、何が起こったかについての確固たる仮説を形成する一連の要素を整理した上で、すべてのメディアやネットワークは、カンセルベローの名前を貶め、彼は殺人犯だと言っていました……。彼の死後、元公共省でさえも彼を殺人罪で告発したのです。

IR :

彼は自殺する前に殺人を犯したと告発されたのですね。

NM :

ええ、そして殺人、自殺、統合失調症、狂気という判断を押し付けたのです。不当で残忍な汚名を着せられたにもかかわらず、彼の名前、彼の歌詞、彼の芸術、彼の行ったことは成長し、カンセルベローは、今日、スペイン語の最も優れたラッパーではないにしろ、主要なラッパーの一人として世界で認められています。そこで、検察庁による捜査が開始されました。私は、検察官に、いつものように、しかし今回は特別に、すべての支援を表明し、与えました。彼は、最先端の科学捜査と犯罪学を駆使して捜査を行いました。

そしてその結果は、決定的なものでした。正義は果たされ、ベネズエラの気高い若きクリエイターの名は、正当化されました。タレク・ウィリアム・サーブ司法長官が、犯人と殺人犯、2人の自白ビデオとともに結論を出した日、私は彼の親族と話をしましたが、彼の家族は、魂に安堵感を覚えました。父親のチェオ、妹たち、姪たち。私は、電話で彼らを抱きしめました。カンセルベローがどこにしようと、彼は強い精神力の持ち主です。そして今後、彼の名前は、ベネズエラ、ラテンアメリカ、カリブ海諸国、そしてはるか彼方の若者たちの中で育っていくでしょう。

ベネズエラの検察庁は正義を貫きました。

「私たちは外交政策を非常にダイナミックなものにしました。」

IR :

これは 2023 年最後の数日間における成果の一つですが、私たちが言っていたように、他にもありました。2023 年は政権 10 年目という象徴的な年でした。特に、コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領との何回かの会談、ボゴタでベネズエラに関する会議を主催したこと、ブラジルで最近政権に復帰したルーラ大統領との会談、ルーラが主催した南米に関する会議に出席したこと、その他の戦略的な出張、特にトルコとサウジアラビアへの出張、そして何よりも非常に重要な中国への出張、習近平国家主席との会談に焦点を当てたいと思いま

す。これらの接触や訪問は、ポリーバル革命外交の伝統的な地政学にどのように適合するのでしょうか？

NM：

世界は、すでに新しい時代に入っています。いろいろな西側帝国があった時代は、確実に過ぎ去りつつあり、最後の西側帝国であるアメリカ帝国は、構造的で決定的な歴史的衰退の過程にあります。アメリカは、合衆国として統一されたままであれば、そこからいくつかの国家が生まれることがなければ、常に力を持ち続けるでしょう。これは、数十年後に予測される可能性のある傾向のひとつです。イギリスと同じで、イギリスは軍事、経済、商業、海軍の超帝国でした……。そして、消滅し、没落し、衰退しました……。しかし、今でも強力で重要な国です。

今日、解放者シモン・ポリーバルが夢見たような、より均衡のとれた世界が出現しました。ところで、私たちは、英雄、私たちの父である解放者シモン・ポリーバルの生誕地にいます。そして彼は、19世紀の開始当初から、「均衡が取れた世界を建設する」必要性、「均衡の世界」について語っています。その時、解放者は、今日私たちが「多極化世界戦略」と呼ぶことのできる戦略を考え出しました。そこでは、彼の剣、彼の軍隊、私たちの軍隊により、解放された「我々のアメリカ」が、大きなブロックの一つでした。実際、1819年12月17日にオリノコ川で建国された大コロンビアは、現在のベネズエラ、コロンビア、パナマ、中央アメリカの一部、エクアドルを含む、大西洋、カリブ海、太平洋、アマゾン、アンデスの大国として誕生しました。領土、人口、軍事、経済大国として誕生したのです。

IR：

もうひとつのブラジルのような...

NM：

実際そうです。さらに、両腕をもっていました。カリブ海と大西洋に面し、もう一つは太平洋に面し、アンデス山脈全体とアマゾンに巨大な領土を有していました。そしてその強国は、1826年のパナマ会議で解放者ポリーバルが試みたように、強力な諸国家のブロック、共和国連合を構成するよう求められたの

です……。反逆が優勢になり、帝国の陰謀が優勢になり、ボリーバルの計画は刺され、裏切られ、汚され、忘れ去られました……。

そして、強力なブロックが誕生するはずだったところに、カッコ付きで言うことができますが、尊重すべき 10、15、20 の「小共和国」が残りました。しかし、15 の「小共和国」は、すべて帝国の側にいて、すべて支配されていました。つまり、「世界の均衡」、「多極化する世界」という概念は、巨人、解放者の偉大な夢であり、今日、その出現を目の当たりにしているのです。そして、私たちは注目しています。ウーゴ・チャベス司令官は「新しい世界の地政学」について語り、ボリーバル的平和外交を確立しました。その横軸は、新しい世界の地政学、新しい世界権力軸の構築、そしてその軸へのベネズエラの参入です。

まず、ラテンアメリカから、南アメリカから、カリブ海諸国から、そしてラテンアメリカとカリブ海諸国から世界へ。だからこそ今年、私たちは、外交政策を非常にダイナミックなものにしたのです。ルーラが UNASUR（南米諸国連合）を再建する意図を示しましたが、私たちは、これに参加します。これは非常に重要であり、一步一步前進していますが、それを阻止しようとする脅迫や帝国の陰謀がないわけではありません。私たちは、今年、ラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体（CELAC）の強化に参加しました。私たちはメキシコのロペス・オブラドール大統領とともに 10 月にパレンケ・サミットに参加し、気候変動、移民、開発、独立といった問題全体について話し合いました。また、中米全体と南米の一部から、制裁解除を求める制裁問題への支持を得ました。

「中国訪問は記念すべきものでした」

世界レベルでは、トルコ、インド、ロシア、そして中国と、今年は大いに関係を強化しました。9 月の私たちの中国訪問は、記念碑的なものでした。私は外務大臣としてチャベス司令官と一緒に 6、7 回、そして大統領としても 5、6 回中国を訪問しました。関係の水準では、この 6 日間の訪中で、習近平国家主席との間に、中国とベネズエラの間で結ばれた関係、締結された協定、決定された政策のレベルは、他と比較できません。まず第一に、私たちはこの関係を、「いかなる時も揺るぎない」ハイレベルの戦略的関係にまで高めました。

IR :

それは文書に出てくる表現ですか？

NM :

そうです。この表現は、中国が初めてラテンアメリカとカリブ海諸国との関係を共同にした概念です。これは全体のレベルを引き上げるものです。ですから、私たちは帝国による包囲網の中で、恒常的な攻撃の中で、新しい世界を紡ぐために前進しているのです。ベネズエラは、謙虚に、控えめに、しかし、ボリーバルの思想の偉大さ、チャベスの新しい世界地政学の偉大さをもって、多極世界の建設に、真に自由な諸国と人民の世界の建設に、粘り強く取り組んでいます。

「イバン・ドゥケの命令により、アレックス・サーブがすでに殺害されようとしています」

IR :

大統領、あなたの政府の功績の中で、最近のものを 3 つ挙げたいと思います。一つ目は、10 月のバルバドス合意で、議会外の野党との合意を成立させることができました。二つ目は、12 月 3 日のガイアナ・エセキバに関する住民投票で、動員の面で大きな勝利を収めたこと。そして最近の 12 月の外交官アレックス・サーブの釈放です。他の二つについてもですが、この最後のテーマについて、アレックス・サーブの釈放の交渉がいかに困難であったか、その詳細を教えてください。

NM:

まず、最初に申し上げますが、アレックス・サーブは、コロンビア出身の実業家で、ベネズエラに定住し、一連の重要な投資を始めました。2011 年、ベネズエラ住宅大計画に参加しました。その後、私が大統領を担当している段階で、彼は社会的な計画に関わるようになりましたが、何よりも、2016 年に米国により、犯罪的制裁が科せられたときに、彼は非常に重要な役割を果たすようになり、成長していきました。

IR :

2016 年以降ですね。

NM :

そう、16、17、18 年、彼が関与するようになったので……。私は考えるようになりました……。第一に、彼はコロンビア人であり、コロンビア人の血を引いています。第二にパレスチナ人の血を引いています。そこから、彼は、反抗の血を引いているのです。そして、ベネズエラに対する制裁を克服するために、非常に巧みに働き始めたのです。

IR :

彼自身のイニシアチブですか？愛国心からですか？

NM :

彼自身のイニシアチブです。また私が実施した一連の政策によって、民間部門に呼びかけ、資本や民間投資によって前進することができました。といたしますのは銀行口座がすべて凍結され、資金が奪われたたからです、ラモネさん。凍結されただけでなく、すべてのお金、210 億ドル以上が盗まれ、海外にある財産が凍結され、世界で製品を売ることが禁じられ、主要産業である石油産業が迫害されました。その結果、私たちの話すことを信じない人もいますが、私たちは国の収入の 99%を失いました。540 億ドル、翌年には7億ドル失いました。帝国主義の明確で直接的な目的は、社会を崩壊させ、暴力的な「政権交代」を進めることでした。しかし、フィデルがいつも言っていたように、「危機は人をつくる」、「危機は指導者をつくる」のです。

その危機の中で、アレックス・サーブという男が現れたと言えるでしょう。彼は、2017 年、2018 年の困難な時期に、持ち込んできた資本で輸入を始め、国内で CLAP（供給・生産地方委員会）箱で食料を運び始めました。そのため、彼らは彼と彼の家族全員、彼の兄弟、彼の妹、彼の父、彼の母、彼ら全員に制裁を科しました。そして、彼がメキシコや他の国々で CLAP 箱を製造していた会社に対しても、さまざまな制裁で脅し、迫害を始めました。

2019 年、特に 2020 年になると、彼は、3 つの重要な分野で重要な役割を果たしていました。特に 2020 年、新型コロナによる隔離が起きた年です。

一つは、依然として CLAP はベネズエラで生産していませんでしたので、その後、運よく生産が始まりましたが、彼は、CLAP を保障することにおいて、大変重要な役割を引き続き果たしました。ベネズエラの農村に住む何千人もの農業生産者、農民、農民の努力のおかげで、今日、私たちは、ベネズエラの食料の 85%を生産しています。農業の奇跡です。だれによって達成されたのでしょうか。労働者によって、生産者によってです……。当時は、そうではありませんでした。私たちは海外から CLAP 箱の 90%を持ってきて、700 万世帯に供給しました。そして、彼はその輸入を実現するキーマンでした。

しかし、また、ベネズエラの 4 つの製油所は封鎖され、交換部品が手に入らず、買うこともできず、もしその国で交換部品を手に入れたとしても、考えてもみてください、制裁のためにそれを支払う銀行口座がありませんでした。その後、私たちは、この問題を解決し、奇跡的かつ英雄的な方法で 4 つの精油所を再開するために、三角貿易を行いました。ベネズエラの石油労働者の技術と知識のおかげで、また世界の私たちの友人たちのおかげで、それはできました。そして、アレックス・サーブが、ベネズエラに燃料を運び始めたのです。

また、最も困っている患者のための医薬品、特にコロナ・ウィルスのパンデミック問題のための重要な医薬品を届けるために、彼は、世界中に連絡網を築きました。そのようなときに、彼は誘拐されたのです。

IR :

カーボベルデで。

「アレックス・サーブにはチェ・ゲバラのような気概がある」

NM :

そう、2020 年 6 月 12 日カーボベルデで逮捕されました。その 2 日前、彼らは、アレックス・サーブを殺そうとしました。このことは、これまで全く報道されていません。その 2 日前、イバン・ドゥケ大統領（2018～2022）に雇われた、コロンビア出身の犯罪者グループが、カラカスの自宅でアレックス・サーブを殺そうとしました。アレックス・サーブは、奇跡的に命が助かりました。彼は、進取の気性に富み、意欲的で、イニシアチブを持ち、私は無謀

とも言いますが、危険やリスクに立ち向かうチェ・ゲバラのような無謀さを持っていました。彼はイランに行きましたが、何のためにイランに行ったのでしょうか？2020年 2021年の1年間のガソリンをベネズエラに保証するためです。イランから三角貿易で医薬品を調達するためでした。その途中で彼は捕らえられ、何の理由もなく誘拐されたのです。

IR :

令状もなく...

「私は、いちども、代理人をもったことはありません」

NM :

はい、国際的な逮捕状はありませんでした。第二に、彼は国連に承認された合法的な政府の外交官であり、外交パスポートで保護されていました。彼を誘拐するということは、世界の外交特権を守る条約に違反することであり、非常に重大なことです。そして、まあ、すでに知られていることですが、捏造……。彼らが最初にやろうとしたことは、サーブが説明したところでは、逮捕後のその7月に、新型コロナの完全な隔離期に、ガソリン運搬船の運航を停止するように電話するように依頼したのです。医薬品の積んだ船の運航も停止するように依頼したのです。ラモネさん、レムデシビルという重要な薬があるのですが、コロナ・ウイルスに対する優れた抗ウイルス薬として当時発売されたばかりでした。彼らはコロナ・ウイルスを食い止めようと必死でした。レムデシビルがカラカスに到着した2020年7月以降、今日に至るまで、国中で隔離されていた数千人の重症患者の命が救われました。

また、彼らは、アレックス・サーブがCLAP箱の輸送を停止するように電話するように依頼しました。何のためでしょうか。医薬品の不足による死亡、飢餓、そして危機に瀕していたガソリンの枯渇が起こりました……。実際、彼が雇った5隻のガソリン船（私たちが費用を負担しましたが、彼はそれを三角貿易で行いました）のうち、2020年6月に到着できたのは2隻だけでした……。忘れられません！船が来れば、ベネズエラにとってはお祭りでした……。他の3隻は米国に盗まれました……。泥棒です。ガソリンを米国にもっていきました。海賊、私掠、泥棒です。

そして、彼が中傷や今でも出回っている嘘に正当性を持たせるために、あらゆる形式の捏造が行われました…。例えばコロンビア麻薬密売寡頭政治の雑誌、汚い下水道のゴミの掃き溜め入り口の雑誌、Semana（週刊誌）は、今でも「アレックス、マドゥーロの代理人」と書いています。私は代理人を持ったことがありません！海外に銀行口座を持ったこともありません。企業も、財産も、人生で持とうと思ったことはありません。私の、国内の企業家、海外の企業家との関係は、わが国のための仕事の関係でしたし、今でもそうです。ですから、帝国主義は、彼を誘拐していた3年半の間、仮定の代理人、汚いビジネス、そして彼らが下劣な司法や下劣なメディアで捏造した腐敗の疑惑について、カッコつきの二セの証拠さえ、1つも示すことができませんでした。ですから、私たちは誰も置き去りにせず、誰も見捨てないのです……。決して！

私たちはいつも、彼の家族と共にいました。彼の妻のカミーラは家庭の主婦になり、主婦は「アレックス・サーブ」釈放運動という強力な運動のリーダーになりました。私たちは、愛情を注いで、彼の息子たち、娘たち、すべての家族と共にいました。特に、私の妻のシリアは、ほぼ毎週カミーラと話をしていました。私たちは、家族がどこにいるか知っていました。車から降りたアレックスをミラフローレス宮殿の黄金の扉で待っていたとき、私はこう言いました。「アレックス、私は、この日が来ると知っていたよ。そして、その日が来たよ」。

「奇跡」？革命家だけができる奇跡、確固たる信念を持ち、真実でもって帝国と対決する私たちだけができる奇跡です。

IR：

美しい勝利でした、大統領。世界を通じて、多くの人々がこの釈放を喜びました。というのは、アレックス・サーブについて語られたすべての虚偽を糾弾するために運動をしてきたのですから。

NM：

ラモネ、私には何とも言えませんが……、しかし、おそらくこれを見ているであろう、あなたが想像もできないような人たちから、世界中から祝福の言葉を

いただきました。お祝いの言葉を送ってくれた人たち、米国の人たち。名前は言いませんが、世界の偉大なアーティストたちから……。中には、私が知らない人たちもいます。そして、あちこちからメッセージをもらいました。これが無実の男に対する仕打ちだ、とね。

私たちは、ホセ・マルティが言っていたように、「それは、沈黙の中で行われなければならなかった」という交渉を行い、拘束者の交換を行いました。事件の慎重さ、事件の外交術によって、私たちは奇跡的な方法で無実の人物を釈放させることができました。そしてその代償として、ベネズエラ国内で犯罪を犯し、有罪判決を受け、自白したテロリストたち、罪人を引き渡したのです。それが誘拐の代償でした。誘拐された人々の自由のために。その価値は十分にあったと思います

「私たちは、全世界からの絶対的な独立をもたらす新しい多角的経済モデルを構築している」

IR:

大統領、引き続き今年の総括についてですが、あなたは 2023 年に向けて 8 つの非常に重要な活動方針を定めましたね。その中で、経済政策が挙げられます。お聞きしたいのですが、この 8 つの取り組みに対するあなたの評価と、主な成果は何でしょうか？

NM:

いいですか、2023 年も一歩前進していると思います。ベネズエラは、2021 年末から 10 四半期連続で経済成長を続けています。私が「ポリーバル経済アジェンダ 18 のエンジン」と定義した、18 のエンジンは、一步一步前進するもので、これらの 18 のエンジンには、公共政策、インセンティブ、投資、国内市場、国際市場、優れた公共管理、優れた民間管理、優れた調整が必要です。

私たちは、国内のすべての経済主体との完璧な協調を達成したと思いますし、また、新たな投資でやってくる国際的な経済主体との対話と理解も非常に高い

レベルに達していると思います。これはこの数年の大きな成果であり、2023年にはさらに強固なものとなるでしょう。ここに、重要な数字があります。

IR :

2022年の成長率は12%ほどでしたね。

NM :

そうです。

IR :

2023年、ベネズエラの成長率はどうですか？

NM :

中央銀行はまだ数字を出していませんが、ECLAC（国連ラテンアメリカ・カリブ海経済委員会）の予想である4.5%は達成できると言っています。10四半期連続の成長です。依然として包囲網の中で、しかも自前の投資で。言ってみれば、根性で。

農業活動は5%の成長です。私たちは、すでに5四半期連続で、農業活動において5ポイント以上の成長を遂げています。そしてその食料の一部を輸出しています。国内のすべての民間製造業活動が持続的に回復し、10四半期連続で4%の成長を遂げました。製造業全体が成長する余地はまだたくさんあります。第3四半期までの商業活動の成長率は約4%。12月に終了したばかりのこの第4四半期は、はるかに高い水準で、印象的な強さで、狂気の商業活動がありました。食品・飲料製造業の生産高は、1.6%以上伸びました。さて、他にもデータがあります。すべてのデータであなたを圧倒するつもりはありません。

IR :

しかし、傾向は非常にポジティブですね。

NM :

そうです。傾向はポジティブです。漁獲量は、国の漁業能力の回復に伴い、今年は25%増加しました。養殖業も私たちが特に注目している活動で、今年は

20%の伸びを記録しました。輸出部門であるエビ部門だけでも、2023年には98%の成長を遂げました。工業・農工業生産の増加では…。そして、ヨーロッパ、米国、中国、インドなどの重要な企業が、石油、ガス、基礎企業に投資するようになりました。

つまり、私たちの憲法と法律で定められた条件のもとで、私たちは上昇をたどっているのです。今年の税の徴収は25.8%伸びましたが、国のニーズと社会福祉国家の回復に向けた社会計画の期待に沿うものであり、税の徴収は今年かなり伸びたとはいえ、労働者、女性労働者の所得向上、社会的投資を可能にする所得を保証するためには、まだ得るものがたくさんあります。

今年、貿易では、11月までで51億8,100万ドルを超える収入がありました。これは、為替レートの安定、ハイパーインフレの決定的な終息など、非常に重要な要素が揃っていることを意味します。私たちは100年にわたり、経済の構造的な弊害としてインフレに取り組んできましたが、私たちが実施している政策により、今後数カ月、数年のうちに、この要素、この変数を改善できる重大な見通しが立っています。

信用ポートフォリオは2022年比で91%増加しました。91パーセントです。これはまだ約14億ドルという控えめな数字です。ベネズエラでは、40億ドル、60億ドル、80億ドル、あるいはそれ以上の投資資金が必要です。しかし、これは、持続的な方法で達成されたものです。

IR :

これらすべては、封鎖され、包囲された状況下においてですね。どちらが、メリットがありますか？

NM :

それはいい質問です。というのも、これから話し合うバルバドス協定や米国政府との協議での進展にもかかわらず、今日のベネズエラは、外国に銀行口座がなく、引き続き迫害され、包囲された国です。そして、私たちは、私たちベネズエラ人自身の努力によって、私たちだけで、このすべてを達成したのです。自信をもって言いますが、すべてこれらを自分たちの体力で達成したのです。

中小零細の民間部門は、海外から到着する投資でもって、合意された、正しく、適切で、公正な公共政策でもって、この世界で実質的に独自に私たちの努力で達成したのです。

IR :

外国からの大きな投資なしにですか？

NM :

そして、ベトナムの偉大なホー・チ・ミンが言ったように、誰にも頼らず、自分たちの頭で考え、自分たちの足で歩き、自分たちの手で建設するのです。それがどんな感じだか、わかりますか？私たちは、今、ポリーバルという米州の巨人が生まれた家と言うのですが、必要ならば、世界全体からまったく独立できるような、新しい多様な経済モデルを構築している段階にいるのです。あなたの分析のために、そしてここで私たちを読む世界中のすべての人の分析のために、もう一つの要素です。

2023 年、ベネズエラは、過去 25 年間で最高レベルの国内供給、国内市場の 97 パーセントの供給を達成しました。基本的には自国生産と、輸入を補完する民間経済部門の活動によって、輸入されるもの、輸入されないもの、国内生産者の保護について非常に明確な政策をとっています。

ですから、私たちは正しい道を歩んでいると思います。はっきり言って依然として多くのことが必要です。特に、賃金や所得に影響を与えるために必要な富や資金を生み出すためには。私たちは、労働者の総合所得、最低総合所得を改善するために最善を尽くしてきました。そして、公共医療、公共教育、年間 50 万戸の住宅建設、CLAP や食料計画による国民の食料を得る権利の保護、人間を中心に置き、人間を総合的に保護すること、一方で、商品、製品、サービスを生み出し、生産するだけでなく、流動的な富を生み出す能力を回復すること、これが私たちの主な努力の方向です。私は、私たちがそれを達成することを確信しています。

「私たちは刑務所マフィアを解体しました」

IR :

大統領、もう 1 つ重要な成果として挙げられていないものがあります。長い間、ポリーバル革命を批判する国際メディアでさえ、ベネズエラは非常に治安が悪く危険な国であり、カラカスは犯罪や非行に支配された都市であると言うのが最も系統的な批判の一つでした。しかし、今日、カラカスは、ますます平和な都市となり、治安も向上し、観光客や旅行者、外国人特派員が目にするように、カラカスの夜は、再び活気を取り戻しています。ほとんど不可能と思われたことが、どのようにして達成されたのでしょうか？

NM :

そうですね、Cuadrantes de Paz (平和象限) という概念に基づいて、膨大な作業が行われました。「平和象限」は領域の概念です。今日、私たちは、全国で 3,000 の平和象限を持っています。

IR :

全国に、ですか？

NM :

そうです。平和象限は、だれを集めているのでしょうか？警察や治安部隊、民衆の力、多様な民衆の力、そして治安に関わるすべての機関を結集しています。平和象限は、犯罪率の高かった地域を解放し、平和の共同体を機能させるためのルールを確立することに貢献しました。平和象限は、そうした要因のひとつだと思います。

もうひとつの要因は、最も危険な犯罪組織を解体するための諜報活動です。この犯罪組織は、新世代のギャングのようなもので、より武装し、より組織化され、多くの資金を持つギャングです。私たちは、国内のさまざまな都市や場所で、ギャングに対する諜報活動やピンポイント攻撃を行ってきました。例えば、カラカスでは、コタ 905 という世界的に知られた地域のギャングに対して行ったピンポイント攻撃が、思い出されます。そのことは、カラカスでは共存生活、平穏、平和の土壌が打ち立てられたことを意味しました。なぜなら、そこは、コタ 905 の温床で、コタ 905 は、イバン・ドゥケの大統領時代 (2018 ~ 2022) にコロンビアのいろいろな犯罪組織とつながっていた、信じ

がたい温床だったからです。私たちが、彼らの隠れ家に入って最初に見つけたのは、山の上にいた 20 人ほどのコロンビアの準軍事組織でした。彼らが率いるはずだったカラカスでの "民衆蜂起" のための訓練をしていました。こういうこともあったのです。

そして第三に、今年 2023 年、コロンビアの中央部、西部、アンデス山脈、東部、南部の象徴的な刑務所で、刑務所マフィアの解体が進みました。このような刑務所マフィアに終止符を打ち、犯罪の中心部を取り除いたことは、非常に重要な一撃だったと思います。私たちは、その政策を、「グラン・カシケ・グアイカイプロ作戦」と呼んでいます、これは今後も続くでしょう。

このようにして、その意味で、ベネズエラを安全な領土、平和な領土としてひき続き、前進させることができると、私は確信しています。そして、私は、いつも国民に呼びかけます。これは一人の力によるものではなく、私たちが、平和象限で行っている連帯の努力によるものです。

私は、いくつかのラテンアメリカの政府にも言っています。名前を挙げるつもりはありませんが、いくつかのラテンアメリカの政府に、言いました。治安勢力、警察、社会組織（ベネズエラの場合は人民の力）の領域内での融合と団結が、大きな成果をもたらすことをご理解いただけるよう、平和象限の経験を共有したいと思います。

「ガイアナ大統領は、ルーラ、CELAC、CARICOM（カリブ共同体）を馬鹿にしている」

IR：

大統領、もうひとつの重要な成果は、先にも述べたように、ガイアナ・エセキボに関する最近の住民投票です。この住民投票の成功により、ガイアナ大統領は、ガイアナ・エセキボの運命について直接話し合うために、あなたと席に着くことを余儀なくされました。しかし、その後、英国の軍艦が派遣され、あなたはそれを非難しています。このような状況下で、ガイアナ・エセキボをめぐるガイアナとの交渉の将来をどのようにお考えですか？

NM :

現時点では、激動の時を迎えていると言えるでしょう。なぜなら、ガイアナは、ガイアナ協同共和国のように振る舞っているのではなく、「英国領ガイアナ」のように振る舞っており、軍艦がガイアナの海岸に行き、その海岸からベネズエラを威嚇することを受け入れているからです。なぜなら、その軍艦は、ガイアナの海岸に向かったときから、ベネズエラを威嚇する声を上げて出たからです。そして、英国外務省の不遜で横柄な声明は、ベネズエラに対する脅迫を再確認するものでした。

こうして、ガイアナの大統領は、植民地時代のイギリス領ガイアナの大統領のように振る舞っているのです。手を縛られ、服従した国のように振る舞っているのです。私は、彼の言い訳を受け入れません。受け入れないのです！ガイアナが、ベネズエラを脅すことは決してないと言って、イルファーン・アリ大統領は、言い訳しようとしています。しかし、脅迫の言葉を発しているのは、彼でなく、かれの主人たちです。軍艦を派遣した、古い、傾いた、腐朽した以前のイギリス帝国なのです。彼らは、ベネズエラが、1902年のベネズエラだと思っているのです。

当時、イギリスは、軍艦を派遣し、マラカイボ、プエルト・カベージョ、ラ・グアイラを砲撃し、ベネズエラの人々を虐殺し、1899年の仲裁裁定を私たちに押し付けたのです。また、19世紀の違法で不道德な借金を取り立てたのです。いや、ベネズエラは、1902年のベネズエラではありません。シプリアーノ・カストロ（1899~1908年独裁政治を敷く）が支配していた、ベネズエラではありません。いいえ、違うのです。ベネズエラは、それに対応する軍事力を持っているのです。私は謙虚に、簡単に、こう言います。なぜなら、私はベネズエラの軍隊をよく知っているからです。そして、彼らがこの国の主権を守るため、この国を守るために命を捧げていることも知っています。私は、彼らに、私たちは平和の国民だと言ってきました。私たちは、良い軍隊を求めます。良い軍隊には、すべてがあります。私たちは、悪い軍隊を求めません。

ですから、英国政府とガイアナ大統領は、何をしているのでしょうか？ルーラ大統領を馬鹿にし、CELACのラルフ・ゴンサルベス大統領を馬鹿にし、カリ

コム諸国を馬鹿にしています。そういうことをしたのです。彼らを、馬鹿にしたのです。ベネズエラを軍艦で脅して馬鹿にしたのです。馬鹿にして、アーガイル協定を足蹴にしたのです。

現在、私たちは、大変混乱した状況にあります。私たちは、対処の仕方を知っています。私たちは、臆病者の日に生まれたわけではありません。いいですか、ラモネさん、私は臆病者の日に生まれたわけではないですし、国家元首として、また軍隊の最高司令官として、ベネズエラの尊厳を守るために何をしなければならぬかを、よく知っています。そして、ここにいる誰も、私たちを船で脅しに来ません。今日も、これからも。ここは 1902 年のベネズエラではありません。ベネズエラを誤解しないようにしてほしいものです。

「米国とは常に対話、理解、共存を求めてきました」

IR :

大統領、昨年 10 月のバルバドス合意の後、議会外の反対もあり、バイデン政権は、対ベネズエラ制裁の一部停止を余儀なくされました。米国との関係正常化に向けて、次のステップをどのようにお考えですか？

NM :

最初に申し上げたいことが 2 つあります。第一に、私は野党のあらゆる勢力との対話を 1,000 回以上推進してきました。極右野党の過激派であるグアイドー主義者との対話は、私がそう呼んでいるように、グアイドー主義者は、米国に甘やかされ、優遇されている野党、親米野党、プチャンキーですが、彼らとも対話を行いました……。ベヌズエラ統一綱領 (PUV) に集う野党との対話ですが、私はこのような対話を推進し、恒常的に、常に、止めることなく開催しています。これらはよく知られている公的な対話です。

しかし、私的な対話では、私は、彼ら全員と会っています。2020 年、2021 年に。彼らはグアイドーについて私に悪口をいいました。私は彼らに行動しなさいと言いましたが、彼らはあえてしませんでした。そして、グアイドーは、すでに腐った屑のようなもので、グアイドーは、すでに非常に悪臭を放ち、アメリカ野郎 (グリーンゴ) たちは、グアイドーを国外に連れ出し、マイアミに連れて行きました。彼は億万長者ですが、世界の半分で盗みを働き、アメリカ人

から盗み、野党から盗み、すべての人から盗みました。それで、彼をベネズエラから連れ出したのです。なぜなら、野党勢力にとって、グアイドーの不名誉はもはや我慢できないものだからです。しかし、私たちは、常に彼らと対話をしてきました。野党勢力は、対話の席に座っているにもかかわらず、その裏では常に引き続き陰謀を企てているのです。ベネズエラでクーデターを起こそうとしたり、私を殺そうとしたりなどなど。しかし、私は常に対話を信じています。

そして第二に、米国との対話です。チャベス司令官は、常にアメリカ合衆国との対話、理解、共存を求め、それを私に教えてくれました。そして、それは、私たちが常に行ってきたことです。チャベス司令官は、ビル・クリントンと対話しました。2002年4月11日、チャベス司令官は、12日、13日にブッシュがクーデターを起こしたにもかかわらず、ジョージ・W・ブッシュとは、2度にわたって。第一次オバマ政権（2009～2013）とも。第二次オバマ政権（2014～2017）は、私の番でした。しかし、その第二次オバマ政権こそ、2015年3月、ベネズエラを「米国の敵」と宣言する大統領令を出した人物です。オバマは、私に面と向かって、言いました。「マドゥーロ、それは間違いだった、私はそれを修正するつもりだ」と。しかし、彼は修正しませんでした。私は、オバマに言いました。「オバマ、問題はあなたではない、問題はあなたの後ろで言っている人だ。その大統領令で私たちに脅迫し、制裁し、侵略するために利用しようとする人が問題なのです」と。これが起こったことです。

ドナルド・トランプとは、誰もが知っているような関係になりました。彼は、ベネズエラに対して930もの制裁措置を科しました。彼は、私の頭に、ここに見えるこの小さな頭に、値段をつけました。彼らは、2018年、8月4日にホワイトハウスから私を殺そうとしました。ドローン攻撃の日、彼らは、ホワイトハウスにいました。計画の成果を期待していました。今日、この真実は知られています。彼らは、何度も私たちに侵略しようとし、コロンビアから傭兵を準備しました。それでも私たちは、常に対話を求め、トランプ政権と対話の絆を持っていました。このような関係でしたので、トランプ政権の最後の日に、選挙前にアレックス・サーブを釈放するための交換をほぼ準備してい

たほどです。だからバイデンが来たときも、私たちは常に対話を望んできました。うまくいけば前進するでしょう。うまくいけば。

「私たちは米国との関係において新しい時代を確立するために最善を尽くしてきました」

IR :

段階的な計画はありますか？

NM :

共通の考え方があり、ルートがあり、確立されたロードマップがあります。しかし、ラモネさん、米国が、ベネズエラに対するいかなる制裁も解除した、とは言えません。それどころか、制裁は、まだ続いているのです。米国が与えたのは、あたかもベネズエラが米国の植民地であるかのようなライセンスです。この国を完全に支配し、輸出入のライセンスを与えていたスペインのギブスコアナ会社（1728~1785）の時代のようなライセンスですね？いわゆる植民地生まれの白人の時代、植民地生まれの白人が、ギブスコアナ会社に嫌気がさしてアメリカ全土の独立を宣言するまで。そんな感じです。アメリカが、ベネズエラに対して適用しようとしているのは、ギブスコアナ会社のようなモデルです。ライセンスを供与して。

しかし、私たちは非常に毅然としています。ラテンアメリカのすべての政府、CELAC の政府、世界の政府に言っています。ベネズエラは、経済と社会に対する違法、不道德、犯罪的な制裁の完全かつ恒久的な解除を要求しています。そのすべてを。それが私たちの目標です。そして、私たちは、休むことなく、それを達成するまで、いつものように耐え忍びます。そして、その途中で、空気清浄機を見ながら、私たちはそれを達成するつもりです。

「ブリックスは人類の未来」

IR :

大統領、今日は 1 月 1 日ですが、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカによって結成された BRICS は、先ほどのお話にもあったように、新しい多極化地政学における一種の新しいパワー、あるいはカウンターパワーを構成

しています。今日現在、新たに6カ国が参加する予定です。実際、そのうち5カ国が加盟しています。イラン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、エジプト、エチオピアです。アルゼンチンも加盟する予定でしたが、ハビエル・ミレイ新大統領が辞退しました。BRICSの重要性について、あなたのご意見をお聞かせください。また、ベネズエラはBRICSに加盟できるのでしょうか？

NM：

BRICSは人類の未来です。BRICSはすでに決定的な経済力をもっており、強力な銀行を有しています。私は、ジルマ・ルセフ総裁と上海の本部で会いました。私たちは、BRICS銀行とは良い発展した関係をもっています。残念ながら、私は耳の感染症がひどかったので、2023年8月の南アフリカ・サミットには行けませんでした。南アフリカ・サミットでは、ベネズエラはパートナーとして受け入れられました。次回2024年10月のロシア・サミットでは、神のご加護のもと、ベネズエラが「ブリックス+」の常任加盟国に加わることを願っています。

私たちは、この新しい世界、新しい均衡の一部として、均衡のある世界、対等な世界というポリーバル地政学的概念の一部として、BRICSに賭けています。そしてまた、ベネズエラにおけるBRICSの投資の発展、ベネズエラ製品の大規模な市場の発展、文化的、政治的、制度的、社会的領域における多様な関係の発展のために。偉大な文明をもった国々です。中国文明、ロシア文明、インド文明、兄弟国ブラジル、兄弟国南アフリカ、アフリカ！そして、私たちは南米、カリブ海諸国、ラテンアメリカの混合文明の一部です。ですから、BRICSは、私たちを感動で満たしてくれます。

アルゼンチンのハビエル・ミレイが踏み出した一歩は、アルゼンチンを19世紀に逆戻りさせるものです。私はそれをアルゼンチン人に言い続けてきました。ミレイの計画は、アルゼンチンに爪を立て、多極化した世界からアルゼンチンを追い出し、帝國的な一極世界の属国にし、南米の新たな植民地に変換し、国家を破壊し、経済を破壊し、アイデンティティを破壊するものです。アルゼンチンをBRICSという巨大なものから追い出すために彼がとった措置は、ミレイがアルゼンチンに対して行った最も不器用で愚かなことのひとつで

す。なぜなら、アルゼンチンを BRICS から外すことで、彼はアルゼンチン人、アルゼンチン人労働者、アルゼンチン人ビジネスマンの利益に反して行動しているからです。

これは、19 世紀に逆行する植民地計画が、最初から失敗した計画であることを示しています。そしてそれは、ボリーバル外交、世界の地政学、ベネズエラで、私たちの革命とともに私たちが進めている新しい地政学が、どのようなものかを示しています。だから私は、遅かれ早かれ、BRICS のメンバーから BRICS のフルメンバーになることを熱望しているのです。

「パレスチナで何が行われていること、形容しがたいことである」

IR :

大統領、今日の世界は、2 つの大きな紛争の影響を受けています。ウクライナとガザです。ウクライナについては、ベネズエラは最初からどちらの側にもつかないことを決定し、交渉による解決を模索する外交方針を守りました。パレスチナ・イスラエル紛争では、ベネズエラは、2009 年にイスラエルとの関係を断絶しました。あなたは、ベネズエラがどちらのケースでも正しい決断をしたと思いますか？この 2 つの紛争の推移をどのように見えていますか？

NM :

この 2 つの戦争は、アメリカの軍事機関とイスラエルの軍事機関の大きなビジネスに、完全に結びついていると思います。アメリカの軍事機関の大きな所有者は、イスラエルの投資家です。この 2 つの戦争は、血と死と兵器の製造業者に利益をもたらしていると思います。

一つの戦争は、ロシアに対する脅威です...。ロシアがウクライナや東欧諸国から作るようとしていた戦略的包囲網の脅威に対して、ロシアは、丸 20 年間警告を発してきましたが、ウクライナのうぬぼれ、ウクライナのミレイ、そして狂信的なネオナチグループ、2014 年にキエフで権力を掌握したグループ全体が行ったことは、ロシアに対する挑発的戦略の推進でした。

すべての戦争は避けるべきであり、ウクライナ戦争の場合は、平和的解決を求めるべきです。しかし、ウクライナは、それを求めず、ロシアを屈服させ、屈

辱させたいのです。そして現時点では、ロシアは、あらゆる軍事費にもかかわらず、NATO 全体との戦争に勝利しています。プーチン大統領が最近述べたように、ロシアは、経済制裁を受けているため、多大な努力をしている中で、制裁に対抗する経済戦争に勝利し、今日のロシアは、成長、経済的安定、経済的繁栄といった経済指標において、米国を含む全ヨーロッパよりも優れています。これは、ロシアが強力な国家であり、生産的な国家であり、その経済が持つ偉大な国内の力を示しています。簡単に言えば、西側諸国はロシア恐怖症に取りつかれ、ロシアを破壊しようとしています。前進する道は、ただ一つです。プーチンと、ロシアと、尊敬の念を基礎に腰を据えて話し合い、ロシアとこの地域全体の安全と平和を確保する必要性を満たす合意に至ることです。

パレスチナ紛争の場合、もはや疑いの余地はありません。民族に対するジェノサイドです。75 年以上前から続く虐殺であり、現在では公然の、残忍なものです。そして、実質的に何もなく、声を上げる人もいません。ジェノサイドについて最悪なことは、このジェノサイドに加担した沈黙です。ヨーロッパのエリートたちの共犯的沈黙です。罪のないパレスチナ人を爆撃し殺害するために、武器や兵器や兵器を製造している米国のエリートたちの共犯行為です。21,000 人以上のパレスチナ人が殺され、そのうち 11,000 人は子どもたちです。彼らは、子供を絶滅させるために、子供を狙ったようです。6,000 人以上の死亡者が、女性です。

本当に、パレスチナで行われていることは、形容しがたい、ヒトラーの時代、ナチスの時代にユダヤ人が経験したユダヤ人ホロコーストそのものに匹敵するものです。国際正義は機能するはずですが、私たちは国際正義の顔を見ることができません。SNS で生中継される白昼のジェノサイド。そして何も起こりません。

なぜなら、これらすべてのジェノサイド、残虐な行為は、今償われるのではなく、将来償われることになるかもしれないからです。そして、これから出現する世界は、いつか、今日このジェノサイドを推進したすべての人々に、説明責任を果たさせるでしょう。私たちは、連帯します。特にこのクリスマスシーズンに。私たちは、パレスチナの子どもたちのことを心に留めています。12 月

24 日、ベツレヘムのすべての場所が閉鎖されました。赤子のイエスが生まれたところで、ラモネさん、クリスマスを救うことができませんでした。赤子のイエスがいる飼い葉桶は戦車に囲まれていました。これがその象徴です。虐殺された赤子なのです。幼児虐殺のヘロデ王の再来です。しかし、私たちは、パレスチナ人民の闘争と抵抗、そして私たちの人民の闘争と抵抗の未来がどうなるかを見ることになるでしょう。

「ネットワークでの戦いに勝利する者は、文化戦争にも勝利する」

IR :

大統領、最後に、政治を超えた質問をしたいと思います。私が知っている大統領の中で、メディアとの関係を最もよく考えているのはあなたです。最近、「マドゥーロと共に・プラス」というテレビ番組を立ち上げ、大成功を収めました。あなたはメディアとどのような関係を築き、どのような目標を掲げていますか？また、今日の大統領はメディアとどのような関係を築くべきだと思いますか？

NM :

コミュニケーション能力が、不可欠です。あなたご自身も説明されていますし、私もあなたから聞きました。あなたが自分で説明し、私もそれを例として取り上げ、私たちの国民に説明してきました。人類には 5 つの偉大なコミュニケーションの時がありました。

1 つ目は、人類、ホモ・サピエンスが、地球上のどこにホモ・サピエンスが存在しようとも、言葉を話し、言葉によるコミュニケーションを始めた時です。

2 つ目は、ホモ・サピエンスが文字を書き始めた時です。ホモ・サピエンスは文字でコミュニケーションを取るようになったのです。中国やインドなどでは、まず記号、そして文字です。

第三に、印刷機が登場し、文字が書けるようになり、本や新聞が登場し、新聞が大陸から大陸へと流通するようになった時です。

第四に、20 世紀と密接に結びついたコミュニケーションの時、映画、ラジオ、テレビの出現です。私たちのチャベス司令官は、伝統的なメディアの管理の達人であり、ツイッター時代の創始者でもありました。@chavezcandanga をもった師でした。第一の社会的な大量のネットワークは、ツイッターでした。

そして今、私たちは第五の、決定的な、決定的な、完全な、支配的なコミュニケーションの時にいます。今日、Instagram、Facebook、TikTok、そして今 X と呼ばれているもの、YouTube が、ソーシャルネットワークの主流です。人々が何時間も交流し、情報を得、コミュニケーションをとる場所です。カラカスでも、上海でも、メキシコシティでも、ニューヨークでも、今話しているこの時間帯に、最も離れた地域にいる人間なら誰でも、インスタグラムを手に取り、TikTok を手に取り、フェイスブックを手に取り、メッセージを発信します。そのメッセージが、バイラル（個人間の口コミを利用した宣伝で伝わること）になることがあります。投稿した内容が人目を引くから流行ることもあれば、人目を引くから流行ることもあります。また、オーナー自身のアルゴリズム、つまり目に見えないオーナーがバイラルになることもあります。

以前は、あなたは、ベネズエラの『ベネビシオン』のオーナー、『テレベン』のオーナー、ラジオ局のオーナー、『エル・ナシオナル』のオーナー、あなたの友人のミゲル・オテロ・シルバをご存知でした。しかし、今では、どこに住んでいるか、誰がオーナーなのか、ベネズエラの TikTok のボスは誰か、わかりません。どこに住んでいるのか？教えてください。もし TikTok がこうしたことをしたり、私の家族に対してこんなことをしたら、あなたは苦情をいってください。どうすれば良いのでしょうか？どんな法律がそれを規制するのですか？それは、研究すべき問題です。

だから私は、新しいシステムを構築しなければならないと言っているのです。私は、ベネズエラの人々に、新しいコミュニケーション・システム、恒久的な影響力を持つシステムを構築しなければならないと言いました。私は、それを RCMP システム（ネットワーク、ストリート、メディア、壁）と呼んでいます。そこが私の出発点です。そして、私は、努力をし、TikTok を存続させ、

アクティブで魅力的なものにし、私の他のソーシャルネットワークを維持し、多国籍勢力に支配されているネットワークの中で異なる声を維持し、ネットワークの中でコミュニケーションを取るために、努力し、貢献します。街頭や伝統的なメディア、そして壁の上でもコミュニケーションを続け、壁が話すようにしなければなりません。

ですから、これは新時代の重要な課題であり、決しておろそかにしてはならない優先事項なのです。ネットワーク、街頭、メディア、そして壁での戦いに勝利する者は、フィデルが言ったように、思想の戦いに勝利し、政治的な戦いに勝利し、文化的な戦いに勝利します。それは決定的です。

「今年 2024 年、ベネズエラ国民は寡頭支配政治右派に新たな教訓を与えることになるでしょう」

IR :

大統領、最後の質問ですが、2024 年は世界でも異例の選挙の年になります。ほぼ 75 カ国で選挙が行われます。40 億人以上の人々が選挙に動員されるでしょう。米国、ロシア、インド、ウクライナで選挙があります。ラテンアメリカでは、メキシコ、ウルグアイ、パナマ、エルサルバドル、ドミニカ共和国、そしてベネズエラで選挙が行われます。野党はすでに 9 人程度の候補者を指名しています。アナリストは、あなたの立候補を当然視していますが...。そこでお聞きしたいのですが、2024 年の大統領選挙で、あなたは本当にチャベス派の候補者になるのでしょうか？

NM : 私が言えるのは、まだ、時期尚早だということです。今年はまだ始まったばかりです。神のみぞ知るです...。ベネズエラ社会主義統一党副党首のディオスダドではなく、神です。今年行われる選挙のシナリオが明らかになるのを、待ちましょう。私たちは、神のご加護により、最善の選択をする、と私は確信しています。私が大統領であるのは、エゴがあって、ある日「大統領になりたい」と言ったからではありません。あるいは、優れた家系からでもありません。あるいは、私の姓マドゥーロ、優れた家系、カラカス渓谷の主人だからでもありません。あるいは、腐敗した寡頭政治の小心な政治屋たちのように大統領になるために生まれたわけでもありません。私は平凡な男であり、これま

での人生で、理念、大義、構想を守る道に出会いました。そしてその道で出会ったのが、最も偉大な師、師の中の師、私たちの敬愛するウーゴ・チャベス司令官です。チャベス司令官は、私たちの父、万人の父であり、構想を立ち上げ、ポリーバル、ポリーバルを私たちに再びもたらしました。21世紀にポリーバルをもたらしたのです。ポリーバルを偉大なる祖国の構想に、国の構想に、国民の意識に変えました。

私たちは、あるいは少なくとも私は、集団を形成する一員であり、歴史的な大義を形成する一員です。私は、私ではなく、歴史的な大義の一部であり、国の構想の一部であり、何百万人もの男女からなる強力な人民の運動の一部なのです。私は、革命の政治的・軍事的最高司令部というチームの一員なのです。私は、自分自身に負い目があるわけではありませんし、エゴや宿命を押し付けているわけでもありません。それはありません。なぜ私が大統領になったのか？チャベス司令官がある時重病になり、決定しました…。そして大統領になったのです。そして、2013年4月14日に行われた一連の英雄的な選挙で、国民はそれを承認しました。そして、その後、私は残忍な戦争の試練に耐え、2017年になったとき、4カ月に及ぶ暴力、クーデター未遂、私への殺害未遂があった暴動を思い出してください。

その後憲法を回復しました。憲法を手にして平和が訪れました。そして、知事選挙に連勝しました。私たちはベネズエラで「敗北」と呼ばれるものを、すべての統一野党に与えました。彼らは勇気づけられました。ラモス・アジュップ（民主行動党）が、「23の知事のうち、我々は25を獲得する」と言ったのを覚えています。2017年の県知事選で、23県のうち19県で知事を獲得……。国内で最も大きく、最も重要な県、ミランダ、カラボボ、ポリーバル、首都を獲得しました……。人民の奇跡、チャベス派の奇跡です。そしてその年の12月10日、私たちは市長職の80%を獲得しました。

そして2018年明けると、ベネズエラの民衆運動、民衆の力、大祖国勢力、栄光あるベネズエラ社会主義統一党で討論会を開き、私は再び彼らの候補者となりました。私が「私は運命づけられている」「私は、良い家系である」

「私はより優れている」「私は不可欠だ」と言ったからではなく、彼らがそれを決めたのです。

ですから、ここで、2024年の私の思いがけない立候補についてのこうした決定において、個人的な野心も、個人主義的な野心も、エゴも、高貴の家系も、決して祖国の利益より優先されることはありません。そして、その決断が下されたとき、それがどのようなものであれ、私たちは皆、勝利するために立ちあがるでしょう……。今日、私があなたにお伝えできること、断言できることは、今年2024年、ベネズエラの国民は、世界の帝国、寡頭制支配右翼、過激派に対して、何十年も忘れることのない新たな教訓を与えるということです。

人民の運動、人民勢力、そして私たちの国全体が、選挙での大勝利と、シモン・ボリーバル国家計画、そしてウーゴ・チャベス司令官が私たちに残した歴史的構想による革命の新たな時代に向けて準備を進めています。2024年は偉大な勝利の年となり、2025年、そしてその先の未来への偉大な成果への扉を開くことになるでしょう。

IR :

ありがとうございました。新年が良き年でありますよう、希望しております。

来年

もまたお会いできることを楽しみにしています。

NM :

もちろんです。またお会いしましょう。良いお年でありますように。

(新藤通弘訳)